

日本学術会議会長談話「新型コロナウイルス感染症とワクチン接種をめぐって」

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により亡くなられた方々とそのご家族の皆さまに心より哀悼の意を表します。また罹患して闘病されている皆さま、後遺症に苦しめられている皆さま、感染症拡大により経済的・社会的困難に直面させられている皆さまにお見舞い申し上げますとともに、日夜、新型コロナウイルス感染症の治療や対策に尽力していただいている医療関係者、研究者、各種機関の皆さまに衷心より敬意を表します。さらに、パンデミック拡大防止に協力していただいている世界と日本のすべての皆さまに心よりお礼申し上げます。

さて、この危難に直面するなか、世界的にワクチン開発とその普及が進められました。現在では日本国内でも医療関係者を皮切りにワクチン接種が開始され、続いて65歳以上の高齢者、さらにそれ以下の年齢層も対象として順次、接種が進められています。自治体や国による各種形態の接種に加えて、つい先日から大学や職域における接種も開始されて、日を追うごとに接種を済まされた方々の人数も増えていきます。こうして現在急ピッチで進められている新型コロナウイルス感染症ワクチン接種は、昨年12月に成立した改正予防接種法により対象者となる国民には接種を受ける努力義務が課され、対象となる人々への接種勧奨がなされる一方、その費用は全額国庫負担で実施されているものです。

こうして進められているワクチン接種によって、免疫が誘導されて新型コロナウイルス感染症を予防できます。最初に接種対象となった医療関係者等では、本年6月11日の時点で第一回目接種を受けた方が全国で520万人、第二回目接種を受けた方が390万人を超えますが、東京都では、これら医療関係者のあいだで感染者数が1月と比べて5月には激減していることが確認されたと報じられています。

このようなワクチン接種の広まりの一方で、これに不安を感じ、さまざまな理由から接種を躊躇される方がおられるのも事実です。今も申し上げたとおり、改正予防接種法で接種が努力義務とされていますが、これは強制接種を意味するものではありません。実際の施策に際しても意に反した強制とならぬように配慮されており、接種を受けられない方々、あるいは接種しないことを選択された方々が社会的に不当な扱いを受けたり、肩身の狭い思いをしたりすることのないような寛容さが求められています。

感染症とそれに起因する苦境に直面させられる毎日が続くなかで、ワクチン接種の効果や副反応に疑問や不安を抱かれる方がおられるのは自然なことだと私たちは考えています。同時に、そうした皆さまの疑問や不安に応える活動を進めることが、学術コミュニティの代表機関としての日本学術会議の果たすべき責務のひとつであると理解しています。日本学術会議はこれまでも日本医学会連合や日本薬学会などの学協会と協力して、新型コロナウイルス感染症について数多くの学術フォーラムや公開シンポジウムを開催するとともに、日本学術会議のウェブサイトなどでも学術的に信頼できる情報の発信に努めてきました。本年7月17日（土）には、ワクチン接種の急拡大という新たなステージを迎えて、公開シ

ンポジウム「新型コロナワクチンを正しく知る」を開催して、広く社会においてワクチンについて理解を深める場としていただければと考えました。あわせて、今後も、日進月歩で進む新型コロナウイルス感染症についての科学的研究や治療法、さらにポストコロナを見据えた社会的課題についての検討状況などを皆さまに知っていただき、ともに考えていきたいと思っております。皆さまのご理解とご参加を心よりお願い申し上げます。

令和3年6月24日
日本学術会議会長 梶田隆章

※7月17日の公開シンポジウム「新型コロナワクチンを正しく知る」の講演内容や参加申込み方法などの詳細は、近日中に日本学術会議ホームページに掲載いたします。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/313-s-0717.html>

※これまでに開催した新型コロナウイルス感染症関連の学術フォーラム・公開シンポジウムのうちワクチンに関連するものは以下の通りです。

- 1) 令和3年4月24日、日本学術会議・日本薬学会主催・公開シンポジウム「くすりのエキスパートが語る"よくわかる新型コロナウイルスワクチン"」

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/308-s-0424.html>

動画配信は終了しましたが、参加者からの質問への回答を掲載しています。

- 2) 令和3年5月8日、日本学術会議・日本医学会連合主催・学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる[新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown # 1] 新型コロナウイルスワクチンと感染メカニズム」

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/309-s-0508.html>

一部の資料及び講演動画は視聴可能です。